

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

11

2019 No.782

3 はじめの言葉

4 情報社会を考える その 110

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

スパコンの威力

常に最高速／最新鋭のスーパーコンピュータが導入されてきたのは、気象庁だと言われてきた。もちろん予算的にも最優先されてきた官庁機関だとも言える。そもそもコンピュータなるものが開発されたのは、大陸間弾道弾の弾道計算をするためだったというのは有名なエピソードがある。単なるエピソードではないだろう。とにもかくにも、最近の気象庁の気象予測的中率は、従前に比べて格段と向上している。特に、太平洋上、日本から遥か彼方にある台風の進路予想が、まだ「台風の卵」、温帯性低気圧の段階から、台風として成長する日時まで予測し、最終的な通過進路までを、かなりの精度で予測できるようになっている。衆知の通りである。

6 デジタルガバメント DG22

デジタル政府の展開 その 20

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018 年 1 月 16 日に日本政府もデジタルガバメント実行計画を e ガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28 年 1 月 16 日から 2023 年 3 月 31 日までの計画である。2018 年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府は ICT を使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりがやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

1 3 連載 アーキテクチャ論 (103)

デジタル変革に向けた

適応型 EA フレームワークの比較

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

代表的な EA フレームワークにおける DX 実装フレームワークを明らかにするため適応型 EA フレームワーク（EAF）に着目する。

適応型 EA フレームワークとして SAEAM(Situated Approach to Enterprise Architecture Management)、DYA (DYnamic Architecture)、ACEA(Adaptive Cloud
WebCR2019/11 1 WebComputerReport

Enterprise Architecture)、 ESARC (Enterprise Service Architecture Reference Cube)、 TOGAF (The Open Group Architecture Framework)などを比較する。

2 4 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第 26 回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

2 9 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 120 回 SNS 時代に深化する

ストーカー被害に対処するには

根本忠明

SNS に投稿されていた写真の瞳に映っていた画像から、住まいが特定されストーカー被害にあった事件を、マスコミ各社は 2019 年 10 月に一斉に報じた。6 年以上も前に注意を喚起された事件が、SNS の普及とカメラ性能の向上により、現実のものとなった。スマホや SNS を便利に利用する時代から、スマホやネットの利用を自制するマナーを身に付け、スマホ断ち・ネット断ちを心がける時代へ移る時期に来ているといつてよい。

3 1 続インテリジェンスへのいざない 117

拗れ切った日韓関係

暗雲の解消への道

今井 武

金持ち喧嘩せず

現在の日韓関係は、史上最悪と言われる。徴用工問題、慰安婦問題、自衛隊機に対する照射事件、フッ化水素等の輸出規制、日本との軍事情報包括保護協定（GSOMIA）破棄の申し入れ、等々については、昨今テレビのワイドショウなどで解説されているとおり。うんざりするほど、互いの主張、両国の言い分の間には、大きな隔たりがある。引きずられるかのように日本国民は、日本政府の方針に賛意を示し、韓国国民は、韓国政府の主張を良しとしている。これによって、両国民の間には、非常に大きな溝ができてしまっているようだ。日本人の立場から見ると、最近の話の矛先は、放射能汚染の問題から、来年の東京オリンピックへの参加／不参加問題、さらには、日本の旭日旗にまで至っている。

3 3 連載 「まるで漫画」シリーズ

すぎやまチヒロ

（毎週アップデートされる「まるで漫画シリーズ」 ホームページをご覧ください。）

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス定価 本体 2,600円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EUCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門からできない
第二章 データベースとデータウェアハウスの	データウェアハウスサポート
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第八章 データウェアハウスの構築と
第四章 リレーショナル・モデルとテスト・	データ移行ツール
リレーショナル・モデル	第九章 データウェアハウスの利用と
第五章 正確性の問題点とデータウェアハウス	エンドユーザーツール
第六章 データウェアハウス管理システム	第十章 データウェアハウスの保守と
	オートメーション
	付 録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 CodePlusによるOLAPプログラムの	第九章 多次元データベースとアプリケーション
評価ツール	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第四章 分析処理の歴史	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第五章 OLAP(多次元データベース)の影	付 録
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 181頁田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動セグメント
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第八章 人間であること(人間行動セグメント)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告

インターネットセキュリティの
落とし穴定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシナリ研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORMとFIFOの破壊と復元
第二章 aism情報セキュリティ研究会の設立	第十二章 メールが漏れる
第三章 盗取される電子署名方式の基本知識	第十三章 自ネットワーク利用のための
第四章 署名を盗み取ったCodeRedワーム	盗取サーバーの破壊
第五章 情報システムにおけるリスク	第十四章 最近のインターネット事件情報
第六章 情報漏洩対策	第十五章 10万バイトの盗取と情報セキュリティ
第七章 WORM(バグ・プログラムの複製)	対策
第八章 aismの2000年度の事業活動	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第九章 情報セキュリティ研究会の設立と活動	第十七章 ケーススタディ情報セキュリティ教育
第十章 インターネット環境の発展と不正アクセス	第十八章 情報セキュリティ対策に当たっての
	ノウハウ

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！

トップ主導の
情報システム革新定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の資源と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 高度化のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダリングとスパース—定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 212頁安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分類方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方格式のオーダリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録「電子計算機の言語化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条定価 本体 1,480円＋税 送料(〒300)
A5版 288頁加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの最新事情	■ 企業文化と企業体質
■ ニュースリリースは東方向き	■ 守るも度ある広報が重要
■ 数字媒体の特性をチェックする	■ あなただけに役立つ「事例集」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	＜付＞記事とどう付き合う十六の疑問(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク

がんばれ、四度グローバルサーバー
BIM社会に挑んだ国際情報システム作りの物語定価 本体 1,840円＋税 送料(〒300)
A5版 269頁迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 変遷	第十一章 日本企業手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 某チーム前編の内幕
第三章 個人システムへの働き	第十三章 某チーム後編
第四章 WDCに向けて	第十四章 某チーム前編と後編
第五章 F&C、B&C	第十五章 某チーム後編と後編
第六章 日本プロジェクトチームの覚悟	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本企業体制と本編前編
第八章 某チーム立ち上げの誤り	第十八章 某チームとデータ交換の課題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 某チームの「前編、後編、前編の苦しみ
第十章 某チーム、壁となる三人組	第二十章 某チームと本編後編

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp